



# 西田三十五県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

## 今夏の高校総体成功を願って!

### 水泳、バスケットなど8競技開催へ



パネルやポスターを掲示して高校総体で質問する西田県議

歴史と文化の香り高い佐倉市から、充実した3期目の県議会活動を展開する西田三十五(にじゅうご)さん(ご)県議は、2月定例県議会で、予算委員会の質疑に登壇しました。西田県議は、今年の夏に千葉県をはじめ、南関東1都3県で開催される「高校総体」の成功を願って、議場でパネルやポスターを掲示しながら質問し、高校生にとって思い出に残る大会になるよう、しっかりとした大会運営を要望しました。

また、長年の懸案だった舟戸大橋の架け替え工事が、ようやく新年度に着手することになり、西田県議ら地域の声が実を結ぶことになりました。

### 2月県議会予算委員会に登壇

西田委員 ここに用意しましたのは、本年7月26日から8月20日の日程で開催される「全国高等学校総合体育大会」の総合ポスターと、千葉県開催競技種目開催地マップ、そして卓上の「高校総体」は、千葉、東京、神奈川、山梨の南関東4都県による開催であり、本県では水泳、バスケットボールなど8競技種目を8市町で開催することとなっています。

日頃、運動部活動に励む高校生にとって晴れの舞台となるこの大会では、参加する選手が持てる力を十分発揮し、白熱した試合を展開するとともに、参観する方々にとっても思い出に残る素晴らしい大会となるよう期待しています。

そこで伺います。来県する選手監督等ほどのくらいを見込んでいますか。

体育課長 昨年の北部九州総体の実績からしますと、8競技種目で選手約9千5百人、監督・コーチが2千5百人、合わせて約1万2千人を見込んでいます。

西田委員 県外から多くの選手や監督、役員などを迎えるに当たり、おもてなしの心での対応が必要だと

思います。同世代の高校生が積極的に大会に関わり、選手と触れ合うことで交流が生まれ、記憶に残る大会になることを期待しています。県内の高校生はどのように関わりますか。

体育課長 大会会場周辺の県内110校の高校生が、会場の草花装飾や美化活動、出場選手への記念品や歓迎のぼり旗の作成などの準備を行うとともに、式典や競技会に必要な補助役員として、大会の円滑な運営に関わります。

### 積極的なPRを提言



西田委員 東京オリンピック・パラリンピックの開催決定やソチオリンピック・パラリンピックでの日本選手の活躍で、スポーツへの関心が高まっており、高校総体の開催を積極的にPRする絶好の機会だと考えます。大会のPRをどのように行うのか。

体育課長 大会百日前イベントとして、4月に千葉ポートアリーナでカウントダウンボード除幕式や高校総体応援チアリーディング、プロバスケットボール選手による総体応援メッセージを行うなど、大会の機運を盛り上げることにしています。

また、直前の協議会や開催市町周辺の主要な駅で、高校生によるのぼり旗掲出

### 大会の効果

西田委員 大会を開催することによって、どのような効果が見込まれるのか。

体育課長 県内の高校生や会場周辺の子供たちが、ハイレベルな技術や懸命にプレーする姿を間近にみることで、スポーツの素晴らしさを実感し、競技への興味関心が一層高まることに

### 西田三十五県議プロフィール

- 経歴○
- 昭和39年10月 佐倉市生まれ
  - 昭和63年3月 拓殖大学政経学部卒業
  - 平成3年4月 佐倉市議会初当選(3期連続当選)
  - 平成15年4月 県議会議員初当選(3期連続当選)
- 文教福祉常任委員会委員長  
経済環境常任委員会委員長  
文教常任委員会委員長(2回)
- 現職○
- 県議会 文教常任委員
  - 自民党県連 議史編さん委員会委員
  - 防衛問題対策議員連盟 幹事長
  - 教育研究会議員連盟 幹事長
  - 介護問題対策議員連盟 事務局長
  - ちば自民党 青年局 相談役
  - 政策集団 「夢の会」会長

### 市民の声を県政へ

県政や佐倉市での身近なご相談、ご要望をお寄せ下さい。

## 西田三十五 県議事務所

〒285-0837 佐倉市王子台6-1-8

TEL 043-489-2312 FAX 043-489-2401

つながります。

また、大会当日、本県選手は地元の大応援を受けることで、思う存分力を発揮し、素晴らしい結果を収めるものと期待しています。

# 舟戸大橋

# 悲願の架け替え工事に着手!

## 本年度工事費を計上

**西田委員** 舟戸大橋は、1日あたり約1万5千台と交通量が多く、地域の産業・経済等に大きく寄与しています。しかし、この橋梁は、完成してから50年が経過し、老朽化が進行しています。その上、歩道も設置されていないため、地域住民から架け替え要望を受けているところですが、

私もかねてから、再三県議会にて舟戸大橋の架け替えの必要性を訴えてきました。本年度、ようやくその願いが叶い、工事費が計上され、



歩道のない危険な舟戸大橋を渡る西田県議

# 工事中の住環境に配慮要望

## 工事車両は密集地避け

**西田委員** 舟戸大橋の架け替え工事は、大変喜ばしいことですが、その半面、工事用車両の通行などにより、沿線住民の生活環境の悪化が心配なところです。大型車の通行規制がある県道千葉白井印西線の工事用車両の走行にあたって、沿線住民に配慮すべきと思うかどうか。

**道路整備課長** 舟戸大橋の架け替え工事に当たっては、沿線住民の生活環境に配慮して工事を進めていく必要があると認識しています。このため、工事用車両の出入りや工事資材の搬入に当たっては、住宅密集地を避けて通行するよう、関係機関と調整してまいります。

**西田委員** 工事用車両の通行にまぎれ、一般の大型車が進入しないよう、対策を講ずるべきと思うかどうか。  
**道路整備課長** 工事中は、交通整理員を配置し、警察や地元市と連携し、案内板を設置するなど、適切な対策を講じてまいります。毎年3月に佐倉朝日健康マラソン大会が開催されます。迂回路ができた場合、距離の調整が必要になります。混乱がないよう、市と話し合ってください。



予算委員会に登壇し、質問する西田県議

## 介護保険見直しへの対応

**西田委員** 本県は、埼玉県に次いで全国2番目のスピードで、高齢化が進んでおり、介護保険の重要性はますます高まっています。現在、国で改正案が審議されている、平成27年度からの要支援者向けサービスの見直し内容は、どのようなものか。  
**介護指導課長** 現在、国においては、要支援者向けサービスである予防給付15種類のうち、

訪問介護、通所介護について、平成29年度までに段階的に市町村の「地域支援事業」に移行するという見直しが進められています。この見直しにより、市町村は掃除、洗濯、ゴミ出しやミニデイサービス、運動教室などの多様なサービスを、ボランティアやNPOなどを活用して提供することが求められています。  
**西田委員** 県としてどのように市町村を支援していくのか。  
**介護指導課長** 市町村への円滑な移行を図るため、国においては、市町村が事業を実施する際の留意点等を記載したガイドラインを

## 新コースを設置へ

### 佐倉西、成田国際高校

**西田委員** 県教育委員会では、県立学校改革プランの第2次プログラム案を公表しました。佐倉、成田地域の高校改革について伺います。県立佐倉西高校に設けられる「福祉に関するコース」については、どのように進めていくのか。  
**教育長** 県立佐倉西高校に設置予定の「福祉に関するコース」では、介護の専門的な知識・技術に加え、介護職員としての気遣いや配慮、マナーを身につけた福祉や介護を担う人材を育成してまいります。

制定する予定と聞いています。県としては、市町村に対しガイドラインの周知を図るとともに、市町村がさまざまなサービスを適切に提供していけるように、先進自治体の取り組み事例の紹介や助言などを行い、支援に努めてまいります。  
**西田委員** 県として、市町村に対し助言を行うことで、市町村に大きな混乱が生じることのないようにしていただきたい。市町村には、さまざまな創意工夫をして事業に取り組んでもらうとともに、県には、こうした市町村の取り組みを積極的に支援してもらいたい。

具体的には、英語力の強化だけでなく、国際交流や留学がしやすい環境を整えます。特に、海外大学やグローバル人材の育成を目的とした国内の大学へ多くの子どもが進学できるように独自のコースを設置します。  
**西田委員** 県立成田国際